

【家庭分野の目標】

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学習内容(予定時間数)

一学期 (6)	二学期 (7)	三学期 (5)
<p>【4月～5月】</p> <p>幼い頃の振り返り (0. 5)</p> <p>幼児の体の発達 (0. 5)</p> <p>幼児の心の発達 (1)</p> <p>※学習ノート、プリント課題で評価</p>	<p>【9月～10月】</p> <p>幼児の生活と遊び(おもちゃ作り) (2)</p> <p>※学習ノート、プリント課題、実技で評価</p>	<p>【1月～2月】</p> <p>家族や地域の高齢者との関わり (0. 5)</p> <p>地域での協働を目指して (0. 5)</p> <p>持続可能な食生活を目指して(1)</p> <p>※学習ノート、プリント課題で評価</p>
<p>【5月～6月】</p> <p>幼児の一日の生活 (1)</p> <p>支えられて身に付ける生活習慣 (1)</p> <p>※学習ノート、プリント課題で評価</p>	<p>【10月～12月】</p> <p>幼児の生活と遊び (おもちゃ作り) (3)</p> <p>幼児との関わり方の工夫 (0. 5)</p> <p>幼児との関わりを生活に生かす (0. 5)</p> <p>子どもにとっての家族 (0. 5)</p> <p>家族との関わり (0. 5)</p> <p>※学習ノート、プリント課題、実技、定期テストで評価</p> <p>第3回定期テスト</p>	<p>【2月～3月】</p> <p>日本の食文化と和食の調理(1)</p> <p>生活の課題と実践(2)</p> <p>※学習ノート、プリント課題、実技、生活の課題と実践の提出物、定期テストで評価</p> <p>第4回定期テスト</p>
<p>【6月～7月】</p> <p>幼児の生活と遊び(計画・おもちゃ作り) (2)</p> <p>※学習ノート、プリント課題、定期テストで評価</p> <p>第1回定期テスト</p>		

評価の観点と規準 (各観点の割合はすべて達成率100%で統一する)

	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I	<p><知識及び技能></p> <p>各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価するとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技 ・プリント課題 ・学習ノート <p>など</p>	<p>※プリント課題、学習ノートは定期的に回収する。自分の考えや意見を記入する場合は、A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、評価材料なしとみなす。</p> <p>※実技において、裁縫実習は作品の途中経過、完成度により評価する。また、調理実習は行動観察(個人・班)で評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家族生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。
II	<p><思考力・判断力・表現力等></p> <p>各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント課題 ・学習ノート ・生活の課題と実践の提出物 <p>など</p>	<p>※プリント課題、学習ノートは定期的に回収する。自分の考えや意見を記入する場合は、A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、評価材料なしとみなす。</p> <p>※生活の課題と実践は、「地域の食文化」について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作した遊び道具を用いた幼児との遊び方、幼児との関わり方について計画を考え、工夫している。
III	<p><主体的に学習に取り組む態度></p> <p>知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p>	<p>[全科目共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 <p>[平常点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、提出物の状況など 	<p>[全科目共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 <p>[平常点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとするかどうかをA～Cで評価する。 ・提出物の期限を守り、忘れ物をしないように心掛ける。 ・自分なりの自習方法を見つけ、取り組もうとする。

